

令和6年度麻生区地域デザイン会議 開催結果

新百合ヶ丘駅周辺のまちの将来像やその実現に向けた取組の方向性等をとりまとめた「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針（案）」をもとに、麻生区にゆかりのある皆さんと一緒に、「これからのまちづくり」を考えるためのワークショップ（意見交換会）を麻生区役所とまちづくり局で開催しました。

■開催概要

- 日 時：【第1回】令和7年2月16日(日) / 【第2回】令和7年3月22日(土) 計2回開催
- 参加者：【第1回】20名 / 【第2回】18名
麻生区に在住の方 または麻生区にゆかりのある方（在勤・在学・地域活動など）
- 内 容：3つのグループに分かれ、グループワークを実施しました。
グループワークでは、交通環境の改善や賑わいの創出が特に求められている**駅北側のまちづくり**や、**区役所等の公共施設のあり方**等を中心に検討しました。

第1回

新百合ヶ丘駅**北側**や**公共施設**の課題を共有し、グループ内で課題をまとめよう！

駅北側の「まちづくり」や「公共施設」についての課題を出し合い、分類分けを行うことで新百合ヶ丘北側の抱える課題について検討しました。

第2回

新百合ヶ丘駅**北側**や**公共施設**課題解決に向けたアイデアや将来のまちを考えよう！

第1回でまとめた北側の「まちづくり」や「公共施設」の課題について、解決に向けた具体的なアイデアや将来像について検討しました。

新百合ヶ丘駅北側の現況



■グループワークでの意見概要 <新百合ヶ丘駅北側のまちづくり・公共施設について>

	主な課題 等	課題解決へ向けたアイデア 等	
公共施設について	「施設の老朽が目立ち始めている」 「広場・空間が活かせていない」 「交通利便性が悪いので災害時の出動に課題を感じる」 「立地の良さをいかしきれていない」 「魅力的な場所が少ない」 「子連れで落ち着ける場所が少ない」	「エリアの奥行きを考慮した段階的な公共施設の整備」 「誰もが利用・交流しやすく、魅力的な施設・空間」 「高層化、統合化により、広場空間等の確保」 「公共施設の適正な配置」 「商業施設との連携」 「図書館・芸術文化・子育て・緑・カフェなど、複合的で行きたくなる区役所・図書館」	「明るく利用しやすいエントランス」 「消防署車両の出動のしやすさ」 「アートセンターとの連携の強化」 「もっと利用しやすく魅力的な図書館」 「駅前の立地の良さを活用」
交通について	「道路の渋滞が酷い、北口駅前広場が狭く、使い辛い」 「歩道が歩きにくい、楽しく歩けるような道がない」 「誰もが使いやすい道路空間になっていない（ベビーカーなど）」 「高低差があり、移動が大変」	「道路改修、交通広場の拡充、南北のバスの適正配置」 「車と歩行者の分離・ウォークابل、南北の歩行者動線の改善、高低差の解消」 「交通広場の地下化、交通アクセスの立体化、デッキや建物・エレベーター等での高低差の解消」	
土地利用について (にぎわい・魅力等) <駅との連携・駅前空間>	「駅周辺で憩える空間が少ない」 「老若男女が楽しめる店、子連れで行ける施設が少ない」 「南側の人の流れやにぎわいが北側につながっていない」 「オフィス等が少なく昼間の人口が少ない」 「官民連携・一体的なまちづくりが必要」	「官民一体的なまちづくり」 「まちのロビーとなる駅前空間」 「憩い空間」 「魅力的な商業施設・企業の誘致等の民間活力の積極的な活用」 「歩いて楽しい空間、回遊性、プロムナード、ペDESTリアンデッキ」	「北口のシンボルとなる顔作り」 「駅前の低未利用地の有効活用」 「高度利用」
<まちづくり全般>	「しんゆりの個性や特色を活かしていない」 「他地域との差別化が必要」 「豊富な緑を生かし切れていない」 「崖や土地の高低差等が不安」	「カフェ等との一体的な緑・オープンスペースなど、子供も親もくつろげる空間」 「子育て世代にとって魅力あるまち・住みたくなるまち、子育て支援施設の充実」 「緑地・緑道の適切な管理」 「道路沿いには魅力的な店舗（路面店等）」 「しんゆりらしさ、緑・芸術文化の活用」	「災害対策の充実」 「官民連携した魅力ある公園」 「アートセンターまでの人の流れの創出」

■グループワークの発表の内容を踏まえて、傍聴者と発表者で以下の意見交換がありました。

- 平日の昼間の人口を増やすには、どうしたら良いだろうか？
➢ 「新百合ヶ丘といえば○○」と言われるような企業を誘致し、その企業が主体となってまちづくりにもかかわってくれと、さらに良い影響があると思う。
- 老朽化している区役所、消防署、市民館、図書館はどのようにしていくと良いだろうか？
➢ 公共施設再編の世界モデルとなるように、官民協力して計画的に検討すると良いと思う。



各班のワークシート

(第2回のワークシートを基に作成)

新百合ヶ丘駅北側のまちづくり・公共施設について考えよう！

1日目 まちの気になること・課題の共有

公共施設

- 区役所、図書館、市民館
- ・老朽化(今の時代に合っていない)
- ・用事がないと行かない
- ・広場・空間が活かしていない
- ・話せない雰囲気→小さい子供を連れて行きにくい
- 消防署(駅前に位置している必要はない)
- ・交通利便性が悪い→災害時の出動に課題

課題解決のキーワード

多世代交流の場
公共施設の複合的な利用、立体化
もっと魅力的に、もっと使いやすく

にぎわい 魅力

- まちの魅力が足りない
- ・ランドマークがない、緑の連続性、歩きたくなる道が少ない
- ・駅周辺で憩える空間が少ない(特に北口)
- ・老若男女が楽しめる店、子連れで行ける施設が少ない
- しんゆりの個性や特色を活かしていない
- ・美術館やアートギャラリーがない。
- ・しんゆりならではの店が少ない(ある程度チェーン店は欲しい)

課題解決のキーワード

芸術施設の整備(美術館・アートギャラリー)
美しい街並
駅前に憩える空間

交通

- 交通渋滞(車)
- ・道路の渋滞
- ・北口駅前広場が小さく、不便
- ・自転車との錯綜(専用レーンがない)
- 安全・安心で快適な交通環境
- ・歩道が歩きにくい、楽しく歩けるような道がない
- ・駅周辺の回遊性(特に南北)が悪い

課題解決のキーワード

北方面のバスの適正配置、交差点の改良、
道路の改修、駅前広場の拡充
デッキ、南北動線、自転車専用レーン

土地 利用

- 土地の有効活用ができていない(もっと立体的に活用すべき)
- ・駅前一等地に駐車場はもったいない、駅前にランドマークがない

課題解決のキーワード

立体的な空間活用、高度利用
駅前一等地の有効活用、ランドマーク

★ 共通キーワード

交通環境がまちづくりの基盤、官民連携
子育て世代・若い世代向けの施設・まちづくり
駅前を有効活用した一体的なまちづくり、
駅前の顔となる空間、3号線を見据えて

2日目 具体的な解決策・アイデア

公共施設(図書館)

- 札の辻スクエア
- カフェやシェアスペース付きの図書館(武蔵野市図書館)前のスペースを芝生にする
→テラス付きオープンカフェにして外とのつながりをつくる
- 図書館・子育て支援複合施設
+文化・芸術

今は、静かなスペースと子どもスペースが隣接していて、どっちも居心地が悪い...
→それぞれの機能を守りながら
一体的に

機能

図書館・文化芸術・
子育て・緑・カフェなど
複合的に、一体的に

どの時間帯も需要が出てくる

公共施設(区役所)

- 転用できる施設にする
- 高齢・人口減をふまえて区役所を含み、住みやすくコンパクトなまち(道路、駅前広場も適度なものは不要)
- 居心地がよく人が滞留する施設スペース(緑)を作る
- 「座れる場所」

手続きだけでなく、緑と一体化したりして、

「行きたくなる行政施設」

公共施設
1階に市民が集える場所
レストランやCAFEなど
市民は地上にいます！

・お金がなくても行ける場所は公共施設が担えるのでは！

行政機能と民間商業施設の複合ビル(コンパクト・フレキシブル)

公共施設(消防)

消防署の問題
災害時は出動さえ困難
・ドローンの発着所を消防署に整備してはどうか

21ビル

21ホールの活用
イス、机はいいのに何かもったいない...

芸術・文 化

音楽と芸術を重視してまちづくりをしていく
美術館、博物館
大型ビジョン等
まちのシンボル(ランドマーク)となるものを作る

近隣の大学とも連携しながら

しんゆりの芸術のイベントなども開催できれば

緑を使って市民を巻き込んでいく！！

・メンテナンス、木の選択

緑

維持管理が可能で、継続性のある緑を増やす
・交流の場
・植栽
→メンテナンスは市民を巻き込んでやれるとよい
・魅力的に使いやすく
・低木だけでなく、高木や季節を感じる選木
・市民にとって美しい風景

屋上などに緑を植える(公園へ)
→少ない土地の有効活用
芝生が広がる広い公園
公園(文化・芸術、ペットとのふれあい)

駅近で！

- ・どんな機能があるかも分かりづらい
- ・若葉台 駅近に公園あり、駅から直接行ける
- ・駐車場の場所を活用できないか

交通

インフラ整備が一大事なため、道路、デッキや駅の整備を行うべき
高低差の問題・崖などの地形の問題は建物で解決する
楽しく登り降りする！
北口ロータリーの交差点は歩道橋をつくる
ペDESTリアンデッキ(回遊性・交通利便性、安全性)

デッキ

田町駅周辺のデッキ
・高輪
グレートウェイク
・南町田グランベリーパーク駅
北口駅前に地下広場を作るかデッキを作って空間を2層化して活用する(バリアフリー対応)
・ポルトガル
・ヤオコーみたいに
・駅のレベルから一気に結んでもいいのでは！？

高低差の解消手法

建物の中にエスカレーターエレベーター

バスロータリー

バスロータリーが暗い！
塀がたくさんいる
→灰色のタイルをやめる
ライトアップする
地上は車(バスロータリーなど)立体化
→上は人

OPA前の木質化は良い。拡大してほしい

まちづくりの計画

将来の人口減少を見据えた計画をする
小田急電鉄を本質にする
駅舎と一体となったまちづくりをコンコースをもう一本

- ・駅との連携は必須
- ・コンコースも増やすと良い



子供だけでなく、親もくつろげるような
→カフェと緑が一体的に

新百合ヶ丘駅北側のまちづくり・公共施設について考えよう！

1日目 まちの気になること・課題の共有

交通

課題
誰もが使いやすい道路空間でない

- 交通渋滞の解消
- ・ 北口広場が狭く、使いづらい→南側の混雑にも繋がる。
- 誰もが使いやすい道路空間になっていない
- ・ 車・自転車・人がごちゃごちゃしている。
- (特に駅交差点～アートセンターまでのみちが狭く、歩きづらい)
- ・ 高低差の解消が必要。移動が大変。
- (区役所へのデッキが細く、古い)

課題解決のキーワード

道路改修、交通広場の拡充、
南北の歩行者動線の改善、
高低差の解消、車と歩行者の分離、立体化

にぎわい 魅力

課題
選ばれるまち・「新百合らしさ」がない

- ・ 南口に比べて寂しい。
- ・ 南側の人の流れやにぎわいが北側につながらっていない。
- ・ 中途半端で個性がない。他地域との差別化が必要。
- ・ 集まれる場所がない、魅力的なお店がない。
- ・ 昼間の人口が少ない。(オフィス等がない)
- ・ 駅前の駐車場がまちの魅力を半減している。

課題解決のキーワード

北口のシンボル(顔)、しんゆりならでは、
駅前駐車場の有効活用、高度利用、
ウインドウショッピング、企業誘致

公共 施設

課題
立地のよさを生かしきれていない

- ・ 古く、利用しづらい。人の流れがない。(デッキが細く、古い)
- ・ 公共施設がコンパクトにまとまっているのがよい。
- < 区役所 > ・ 行く目的がない。広場に魅力がない。
- < 図書館 > ・ 交流しやすい環境でない。
- ・ 利用しづらい。
- < 消防署 > ・ 前の道が狭く出勤しにくい。
- (駅前の一等地に必要?)

課題解決のキーワード

入りやすく開かれた区役所、
利用しやすく・交流しやすい公共空間、
リニューアルの検討、公共施設の配置

防災 防災

課題
安心して住める環境が必要

- ・ 崖や土地の高低差等が不安。
- ・ 緑地・緑道が暗く不安。

課題解決のキーワード

災害対策の充実、緑地・緑道の管理

★ 共通キーワード

子育て世代・若い世代向けの施設・まちづくり
駅前の有効活用、駅前の顔となる空間・環境
官民連携、一体的なまちづくり、
ウォーカブル

2日目 具体的な解決策・アイデア

南口：計画的につくったまちのモデルケース
北口：既存のまちをつくりかえるモデルに

開けた、使いやすい公共施設

- 区役所は事務機能+住民が集えるイベントスペースや公開講座等に活用
- ・ 開けた空間
- ・ 駅前で安心感を感じられる公園の整備
- ・ 駅前に公共施設があることを強みに
- ・ 公共施設と商業の共存、自由に使える
- ・ スペースの充実
- ・ 誰もが使いやすい施設
- ・ 集客できる店舗

区役所・図書館
立地はいい

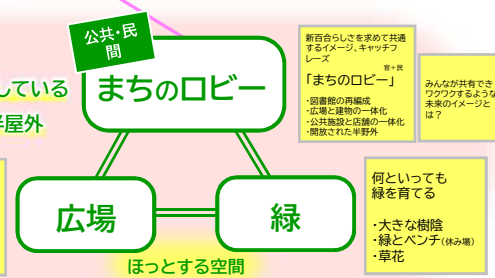
特色ある公共施設

- 区役所・図書館は明るいエントランスに
- 北口のシンボルとしての公共施設・広場
- カフェや商業テナントを下層に設置して間接的な目的をつくる

図書館

- しゃべってもいい図書館空間づくり
- ・ 本を読むだけでなく 図書館
- ・ おしゃべりOK
- ・ ちょっとした待ち合わせ
- ・ 子どもが安心して滞在できる場所
- ・ 気兼ねなく座れるイス

北側にも魅力をも！
まちのロビーとなる駅前空間



整備手法のアイデア

「モノ」(施設)と「コト」(イベント)の整理と組み合わせ

- 消防署⇄庁舎⇄図書館⇄広場⇄駐車場⇄駅前広場
- 連続的な整備
- 階層的な整備

区役所・市民館
消防署・図書館
一体化

駅からの人の流れの先が区役所である

民間活力(仕事場、商業...)を引き込むためには何が必要か

より大規模な開発を

人も車も集まる → 安心・安全がより求められる

整備場所のアイデア

駅～ごちゃっとした区画～整った街並み

区役所裏のハザード地域の整備

裏しんゆり
エリア？
ストリート？
の創出

※ネーミングについては一考の余地あり
「裏しんゆり」(奥流的な)
のブランド化 <シンジュリーゼ>
→ 魅力ある店舗の誘致
・ 学生 ・ レコード喫茶 ・ 古民家風カフェ

交通広場

交通広場の地下化

- ・ 歩行者と車の分離、駐車場の地下化
- ・ エレベーターを整備
- ➡ 安心・安全のまち

立体化

交通アクセスの立体化

- ・ 歩いて楽しい！
沿道空間も目的地になる
- ・ 北側にも目的地になる場所をつくる
- ・ イオンの南側～21ビル間
が往来できるとよい
- ・ 自由に歩ける歩行空間

- ・ 駅北側を出てすぐのまちなみがキレイになるとよい

- 交通+にぎわい
- ・ にぎやかで楽しいまち (海老名のような)
- ・ ペDESTリアンデッキの南北一体化

民間施設のアイデア

アパレル・雑貨店の誘致

商業施設の誘致にあたってアンバー層に向けたブランドがいい

子どもが安心して遊べる場所(室内・公園)情報共有できる場

音大と映画大があるので、協力してアートや芸術など体感できるスペース

麻生区は自然も多い点が魅力なのでアビールできるスペース(紹介や特産品の古民家風販売等)

フリースペースの充実とフリーWi-Fiの設置

ニコタマ化
オフィスや商業などが複合してある施設(一つのビルで何でもできる)
(カフェと併設した仕事や勉強ができるスペース)

「新百合らしさ」=何でも揃うまち子どもが遊ぶ場所を作る

劇場を新しくし、文化・芸術のまちにふさわしい建物に

官民連携の中核になってもらう

しんゆりと言えば
〇〇〇〇 というような企業

回遊性



新百合ヶ丘駅北側のまちづくり・公共施設について考えよう！

1日目 まちの気になること・課題の共有

交通

課題

多世代が利用しづらい・渋滞がひどい

- 多世代が利用しづらい
 - ・北口線(笹子農道)が狭い→自転車・ベビーカーが利用しづらく不便
 - ・EV・スロープが少ない、商業施設を通らなければならない
→バリアフリーに配慮されていない
 - ・高齢者が多いまちなのに歩行者ネットワークが整備されていない
- 渋滞がひどい
 - ・北口ロータリーが小さく人口規模に見合わない、送迎スペースがない
 - ・消防署の位置が悪く、緊急車両が渋滞してしまう

課題解決のキーワード

道路の整備
周辺建物の再整備
消防署の適正配置
移動しやすい・バリアフリー化

公共施設 公共空間

課題

魅力的な場所が少ない

- 多世代が集まれる公共施設が欲しい
 - ・図書館が時代遅れとなっている
 - ・憩いの空間が少ない→人が滞留する場がない
 - ・学生が集まれる場がない→勉強する場所が少ない、
飲食店等相場が高い
 - ・子ども連れで落ち着ける場所が少ない
 - ・南口に比イベントが少ない、観光案内する場所がない

課題解決のキーワード

無料で利用できる施設の充実
オープンスペース・ワークスペース
憩いの空間
海外や他都市を参考

魅力・賑わい (緑・文化・芸術)

課題

「新百合ならではの」がない

- 麻生区ならではの魅力を活かしていない
 - ・緑が多いが活用できていない
 - ・公園はあるが、ボール遊びが出来ないなど利用しづらい
 - ・芸術のまちとして発信力が低い、好きな人にしか届いていない
 - ・文化芸術施設があまり利用されていない
- 民間の活動がもっと活発化するような官民連携
 - ・役所の施設はもっと分離していい

課題解決のキーワード

緑を活かす、田園都市
公園等を利活用
農や生物多様性の活用
既存の文化芸術施設の活用

子育て

課題

子育て施設が少ない

- ・保育・子育て支援施設が少ない
- ・他都市と比べ働く女性の支援が不十分
- ・保育所の選択肢が限られる

課題解決のキーワード

利用しやすい施設

★ 共通キーワード

麻生区ならではの魅力を活用、多世代が利用しやすいまちづくり、駅前の有効活用、官民連携、駐車場など低未利用地を活用

2日目 具体的な解決策・アイデア

交通

北側道路(駅→世田町)の都市計画変更の上、大幅拡幅
ロータリーの周辺の道路を広くする
北口ロータリーの両側のビルと合同で大規模開発(多摩プラザ駅のようなイメージ)

・道路の拡幅
・北口線(笹子農道)
・ロータリー周辺

北口に地下街(区役所までぬれずに移動)↓
・高低差なくアートセンターまで歩ける。
・地上の混雑緩和
駅から役所へ新コンコース
駅高低差をなるべく無くす。
両方向のエスカレーターを設置

・高低差なくす
→雨天時にぬれずに移動できる
例)地下街、屋根をかけるなど
人の通る空間を明るい空間に

駐車場を地下に移し、地上空間を広く使用する
駐車スペースを役所の下に複数アクセス
戦略的な一方通行の設定(右折車による混雑回避)

北口前の駐車場スペースまで使って区役所建替え(駐車場は地下へ)
・駅前有効利用
→駅前のスペースを上手く活用することで歩車分離に(駐車場のエリア使えないかな...)
・交通環境の改善
→南口のように広いロータリーあれば
建物の中、又は間を通るスロープエレベーター、エスカレーター
公共空間にエレベーター、スロープ、エスカレーターを増設し、移動のバリアフリー化
・移動のしやすい空間
→EV、ESCの整備

公共施設・公共空間

文化施設は統合して高層化し、民間テナントを入れる
施設を統合し空間を広く活用し、自然豊かで子供が遊べる北口広場に
北口駐車場をたまプラザのノースプラザの感じに...
休憩用の階段、ベンチ、人工芝を増やし休みやすい空間に

・公共施設の統合
→スペースを確保し、空間を上手に利用
空いたスペースを芝生広場にする、ベンチ設置など
・施設を高層化し、テナントを入れる
→人も立ち寄り収益化につながる

用が無くても人が集まる公共施設 → 「公共施設も1つのメディア」

人が集まるには、

図書館のリニューアル
例)中央林間・大和
図書館建替え→子供から高齢者まで日常的に使えるワークスペースを増やす
フリーwifi
図書館にオープンスペースといった機能の追加
・図書館をもっと利用しやすく
・自由に使えるスペースを増やす
・みんなで使える多機能スペース
広めの公園を官民で運営して、緑の中で集う場
例)カネ・ファーマーズマーケット(薬師池公園など参考)
全天候型のフリースペースを作る
公園・広場・ベンチ・テーブル
フリーワークスペース、フリーwifi、フリー電源、デスク

魅力

建物内部も緑、有機的
岐阜メディアコスモスのような
建物(役所、図書館)自体が美観(隈研吉、伊藤豊雄、藤森諒信)
アートセンターなどと地域の連携を深める
・もっと既存施設と連携
昔はこどもが使える場所があった
→「アート」活動と積極的連携を！！

・公共施設を「しんゆりらしく」
緑活用
有名建築家に設計を頼む
学生に意見を聞く場(授業の時間を設けてもおもしろいのでは(地域デザイン会議の学生版))
大学・高校・企業などサテライトオフィスを作り、ワークジョブやイベントなどコラボする
・大学・企業とコラボ
人が来る場を創設し、多くの人が関わる場にする
→イベントなど情報発信の場に繋がる
・学生など若い世代と関わる場を設ける

賑わい

図書館や21ビルの下あたりに机・椅子が欲しい
イオンの飲食スペースのような気軽に座って話せる場所がほしい
・話せる空間を増やす
飲食可能スペースなど
安全にボール遊びができる公園が欲しい
・安全に遊べる公園
・駅前をきれいに
・「地場産」をアピール
わざわざ北口に行くような施設
・親が目を離しても大丈夫な空間
→子供が自由に遊べる
既存ストックの活用

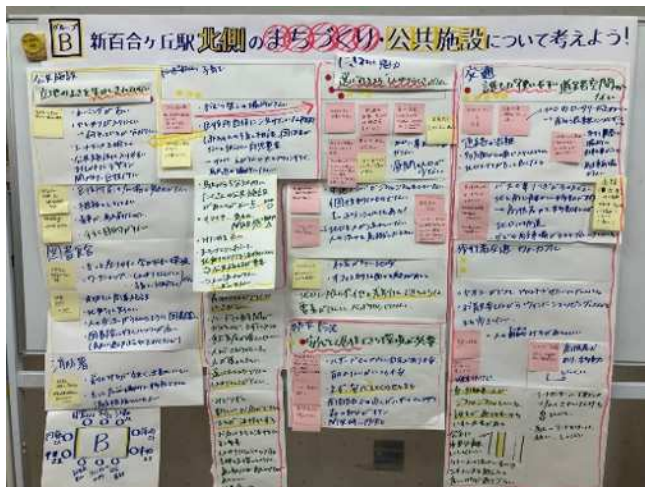
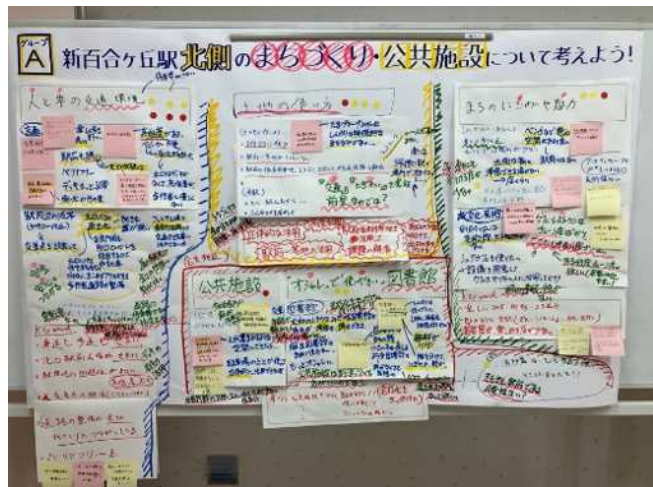
「住みたいまちランキング」目指せベスト3！！

子育て

・緑の中で遊べるスペースなどを増やす
→既存の場を上手に工夫すれば、活用できるのでは？
役所など公共空間の利活用



■第1回の様子（令和7年2月16日(日)）



■第2回の様子（令和7年3月22日(土)）

